

# 獣害対策講座 Vol.20

※タイトルに記載している『雅ねえ』の表記は、本人の原稿どおりで掲載の了承を得ています。

## おさらいと予習

### 前回

栽培現場での病害虫、被害甚大な畑の横にちっとも被害受けてない畑がある。獣害もあつと言う間に被害止める集落がある一方で、いつまでもつても被害止められなくて、議員さんまで出てくる始末で、被害も多い。

で、被害あるなし、獣害止める、止められないの【差】を考えてみた。

### 今回

今回はリクエストもあつたので予告どおりカラスの話。

カラス対策も何とかやっちゃったよ、という農家さんと何をやってもカラスに負けっぱなしの農家さんの【差】になっちゃうと思う。

あつ、今回の話は必ず去年の7回目の鳥対策と合わせて読んで下さいね。

## カラスは心構えから

カラスとはこういう鳥ってきちんと頭に入れた上で自分で考える人は、そのうちに勝

ち組になって持続可能なカラス対策始める。

一方、熱心だけど〇〇は効く、▽▽は効かないみたいなの話にはばかり頼っていて、目の前のカラスが何をやってるか自分の目で見ようとはしないって人は被害なかなか止められないかもです。

あたしのこの原稿も、いろんな農業雑誌のカラス対策成功事例も、目の前のカラス見ないで真似るだけでは失敗の繰り返しになるからね。

## カラスなぜ鳴くの

あたしが子供の頃、「カラスはなぜ鳴くの、カラスの勝手でしょ」とって童謡の替え歌みんなよく歌ってた。

その鳴き声、実は挨拶、餌見つけ、餌頂戴、あっちへ行け、危険が迫るといった何十種類もの鳴き方があつてカラスどうして会話しているらしい。

カラスの鳴き声をした時に鳴きまねしてみると、「よそ者が来た！」と即座に判断して偵察に飛んでくる。

脳の大きさやさまざまな研究から、賢さはイヌ以上って

いう報告もある。

## カラスの賢さ

杉田昭栄さんというカラスの研究者がいろんな色の袋に色ごとに違う数の餌を入れた試験をしたところ、数日で一番餌がたくさん入った袋の色を間違いないく選び、何人もの人の顔写真を張り付けた容器を使った試験では人の顔をあつと言う間に覚えてしまったんだって。

カラスとはそういうヤツと知ってかからないと何をやっても失敗すつから、カラスのことよく知っておこうね。

## ものすごい雑食

とにかくものすごい雑食。穀類、野菜、果樹、昆虫、肉、ドッグフードなどペットの餌、何でも食べる。特に牛舎で後産や羊膜の味、血の味覚えたカラスは畜舎付近に執着するみたい。

牛の乳房を食い破って成牛を失血死させたり、母猪の背中に穴をあけて血肉をついばんだり子牛の目をついたり、イヌのリードが届かないところまで餌入り容器を手繰った

りとやりたい放題。

## 畜舎を狙うもう一つの理由

カラスの1年はだいたい3月頃巣作りを始めて4〜5月に抱卵と子育て、8月頃まで親が餌をあげながら餌の種類、採り方などの教育。そしてヒナ鳥が独立する秋から来年の1〜2月頃まで昼は縄張りで過ごし夜は集団のねぐら。

集団のねぐらができる頃に新しいカップルができる。

概ね3月〜8月が繁殖期で、9月〜2月が非繁殖期。

繁殖期に入ると高い木の幹の枝分かれ部分や送電線の鉄塔などに小枝や都会ではベランダから盗んだ針金ハンガーを材料にして巧み巣作りをする。

出来た巣の真ん中に卵床となる柔らかくなくぼみを作るため、家畜の毛、藁などを畜舎からせせと運び出す。

繁殖期は縄張り意識が特に高く、巣に近寄る人間やイヌ、ネコなども全く恐れずに襲い掛かるから要注意。

